

# 退院支援推進チーム

海外転院をスムーズに進めたい

## ▶ 支援を依頼する職種の選定

MSW  
退院支援センター看護師  
通訳士  
医事課スタッフ  
医師、薬剤師の方々 等

# 依頼内容

- ▶ 確認事項のピックアップ
- ▶ 支援依頼する多職種に関わる内容を羅列選別する。事項を誰に確認するのかを明確にする
- ▶ 所要時間を考慮し、時系列に沿ってタイムスケジュールの作成、□形式で作成し確認漏れを防止
- ▶ パスの様な汎用性

## ▶作成時の注意点

対象（患者、家族）の特徴の把握が大切

（一度決定した内容の急な変更依頼があっても不可能な事例が多い）

# Discharge Tasksを活用しての 脳神経外科・脳神経内患者の 退院調整

# 目指すもの

## 入院期間の短縮

- ・病床稼働率90%
- ・入院期間10日以内
- ・DPCⅡ以内での退院

## DPCⅢ、Ⅲ超えの現状 (2025年8月末時点)



目標は、30%以下

# 原因

- ・ 病状が深刻なため、方向性の目途が付きづらく、早期からMSW介入が入らない
- ・ 追加治療があることが多く、転院時期の見極めが難しい
- ・ SCUと一般病棟の退院調整に関する連携が薄い
- ・ 医師と話し合いの機会が少ない
- ・ 退院調整に関するツールが統一されていない

# 今後の方針

## Discharge tasksの活用

→ 退院支援の進行状況が分かるツールであるが、現状活用されていない



脳神経外科、脳神経内科が関わる医師、各病棟看護師、MSWで使用して情報共有していくように、橋渡しをしていく